



おさかな瓦版

No. 78
2017.7

シリーズ：エビ・カニ 第2回

クルマエビ



ふーちゃんのトピックス

いっばんこうかい あそ きてね！
一般公開に遊びに来てね！

クルマエビ



📷 クルマエビ(メス)

ひとびと すがた あじ
～人々をひきつける姿と味～

クルマエビ(📷)は、美しい姿をしています。全身に水彩で描いたような「しま模様」が浮かび(📷ワンポイント)、しっぽの先の青や黄の模様と相まって、たいへんはなやかです。

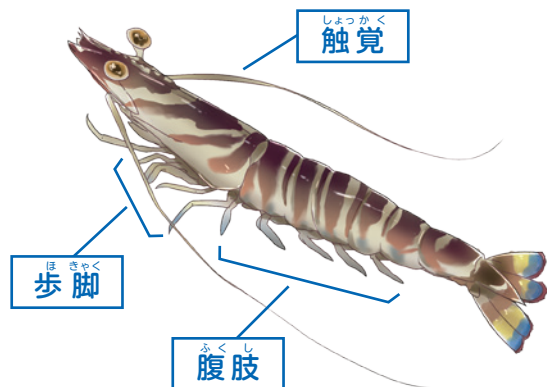
泳ぐときは、おなかにあるオールのような形をした10本の腹肢でしなやかに水をかき、長いひげ(触覚)をなびかせて滑らかに進みます(📷1)。そうして海底に降りるとあっという間に砂の中に潜り込んでしまいます。その早わざにはいつも驚かされます。

このエビは私たちには大変なじみ深く、魚屋さんやお寿司屋さんの水槽で生きた姿をみかけることもよくあります。体の長さは20セ

ンチほどですが、メスはオスよりも大きく育ち、25センチくらいになるものもいます。

砂地が広がる浅い海を好み、普段は海底にすむ小さな生き物を食べていると考えられています。実際、飼っているエビにゴカイをあげると大興奮でかじりつきます。

味がたいへん良く、小さいものは「さいま



📷 1 クルマエビのからだ



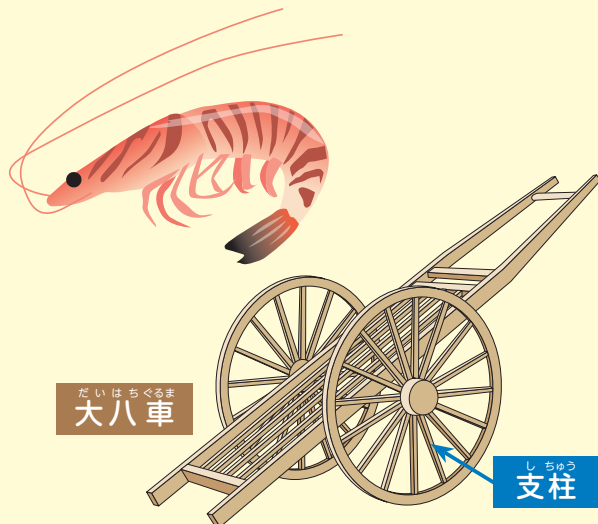
あんじい
ワンポイント
アドバイス

名前の由来

クルマエビの名前は、体を丸めると全体が車輪のようにみえることからきていると考えられておる。ちょうど、しま模様が車輪の支柱のように見えるのじゃ。

この名前は江戸時代の初めから使われており、日本人とクルマエビの長いかわりをあらわしているとも言えるのう。

あんじい：ありとあらゆることを知っているナゾのさかな仙人です



大八車

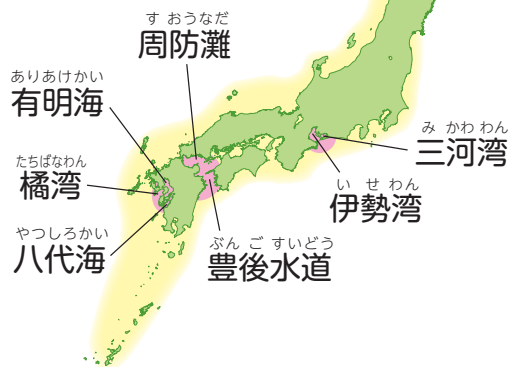
支柱

き」と呼ばれ、刺し身やてんぷらで、大きいものは焼き物や酒蒸し、すしなどでおいしく食べられます。日本食には欠かせない材料の一つです。

産地は、愛知県と三重県が面する伊勢湾や三河湾、瀬戸内海西部の周防灘とそれにつながる豊後水道、さらに九州の西側の有明海や八代海、橘湾が有名です(▲●2)。もっとも、日本国内では沖縄県から、日本海側では北海道の南側まで、太平洋側では宮城県の仙台湾まで分布しているので、ほかの地域でも目にすることは少なくありません。

あまり知られていないのですが、日本で世界に先駆けて、卵からクルマエビを育てる方法が開発され、このことがブラックタイガーやバナメイなど、世界のエビ養殖のきっかけとなりました。日本でも最近では天然クルマエビが減ってきたこともあり、生産量が天然の漁獲量の3倍近くになるほど養殖がさかんに行われています。また、漁獲量を増やすため、毎年1億尾近くの人の手で育てられた小

おも さん ち
 ■ 主な産地
 ぶん ぶ
 ■ 分布

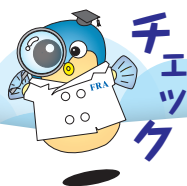


▲● 2 クルマエビの主な産地と分布

さいエビが全国各地で放流され、“育てる漁業”も進められています。

しかし、最近の漁獲量はもっとも多かった時期の8分の1ほどに減ってしまって、漁業が成り立たなくなってきた地域もあります。私たちは、この大切な海のパートナーをいつまでも守っていくため、どうしたら海の中の小さいエビが親までたくさん育つのか、調査と分析に取り組んでいます。

すが や たく ま
 (菅谷 琢磨)



オスとメスの見分け方

クルマエビの性別は、ひっくり返しておなか側を見ればわかります。オスには一番前の腹肢の内側に突起があり、メスには前から5つ目の歩脚の付け根にふくらみがあります。これらは交尾のときに、精子が入った袋の受け渡しに使われます。交尾を終えたメスには、おなか側にイチョウの葉のような形をした交尾栓と呼ばれる器官が見られます。交尾栓はオスからメスに渡された精子が体の外に流れ出ることを防いだり、ほかのオスとの交尾を防いだりするものと考えられています。



オス



メス



ふーちゃんのトピックス

Fuchan's Topics

みんなで
あそびに来てね!



一般公開に遊びに来てね!

水産研究・教育機構では毎年、研究所の一般公開をしています。研究所ってどんなところ？研究者ってどんな仕事をしているのかな？研究施設の見学や、タッチプールなどいろいろな体験コーナーもありますよ。親子で魚のことを楽しく勉強できます。ぜひ遊びに来てね。

くわしくは水産研究・教育機構ウェブサイトをご覧ください。

10月以降の一般公開の予定は次号でお知らせします。

一般公開のスケジュール

7月28日(金)

日本海区水産研究所 宮津庁舎 (京都府宮津市)
ウェブサイト ▶ <http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/>

7月29日(土)

増養殖研究所 南勢庁舎 (三重県度会郡南伊勢町)
ウェブサイト ▶ <http://nria.fra.affrc.go.jp/>

8月5日(土)

中央水産研究所 横須賀庁舎 (神奈川県横須賀市)
ウェブサイト ▶ <http://nrifs.fra.affrc.go.jp/event/koukai/h29yokosuka/OpenLab.html>

8月23日(水)

中央水産研究所 日光庁舎 (栃木県日光市)
ウェブサイト ▶ <http://www.fra.affrc.go.jp/nikko/>

「さかなと森の観察園」
無料公開デー

8月26日(土)

東北区水産研究所 塩釜庁舎 (宮城県塩釜市)
ウェブサイト ▶ <http://tnfri.fra.affrc.go.jp/>

9月2日(土)

瀬戸内海区水産研究所 廿日市庁舎 (広島県廿日市市)
ウェブサイト ▶ <http://feis.fra.affrc.go.jp/>

9月30日(土)

日本海区水産研究所 新潟庁舎 (新潟県新潟市)
ウェブサイト ▶ <http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/>

さくおんの
一般公開のようす



ふーちゃん と



ふつくん：あんじい仙人のもとで修行している研究員です

おさかな瓦版 No.78 (2017年7月発行)

編集・発行：国立研究開発法人 水産研究・教育機構

質問の送り先・お問い合わせ先：広報課

〒220-6115 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-3
クイーンズタワーB 15階

TEL. 045-227-2600 FAX. 045-227-2702

ウェブサイト <http://www.fra.affrc.go.jp/>

さかなやエビ、カニなどの水産動物や海藻のことでわからないことがあったら、広報課までハガキを送ってね。〈聞きたいことの内容〉、〈学年〉、〈住所〉、〈名前〉を忘れずに書いてね。ふつくんが「なんでもコーナー」でお答えします。

表紙写真



クルマエビ



水産庁の主催する魚の国のしあわせプロジェクトに参加しています

リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。